

## 第6学年 社会科学学習指導案

### 1 小単元名 「私たちがつくる未来の世界」(9時間)

### 2 小単元の目標

国際連合の働きや我が国の国際協力について、地球規模で発生している課題や世界の国々が抱えている課題、それらの解決に向けた連携・協力などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめ、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現することを通して、我が国は平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たし、諸外国の発展のために援助や協力を行っていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割を多角的に考えようとする態度を養う。

### 3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①地球規模で発生している課題や世界の国々が抱えている課題、それらの解決に向けた連携・協力などについて、地図帳や各種の資料などで調べ、必要な情報を集め、読み取り、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を理解している。</p> <p>②調べたことを図表や文などにまとめ、我が国は平和な世の中の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解している。</p>	<p>①地球規模で発生している課題や世界の国々が抱えている課題、それらの解決に向けた連携・協力などについて、問いを見だし、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子について考え、表現している。</p> <p>②地球規模で発生している課題や世界の国々が抱えている課題と、それらの解決に向けた連携・協力などを関連付けたり総合したりして、我が国が平和な世界の実現のために国際連合の一員として果たしている役割などを考えたり、学習したことを基に、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割を多角的に考えたり選択・判断したりして、適切に表現している。</p>	<p>①国際連合の働きや我が国の国際協力について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②学習したことを基に、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考え、選択・判断しようとしている。</p>

### 4 単元について

#### (1) 学習指導要領上の位置付け

本単元は、学習指導要領、第6学年の内容(3)に基づいて設定する。

- (3) グローバル化する世界と日本の役割について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア (イ) 我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解すること。
- イ (イ) 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現すること。

(内容の取扱い) グローバル化する国際社会において、今後、我々が果たすべき役割、義務や責任について、様々な立場から多角的に考えたり、世界の人々と共に生きていくために大切なことについて、自分たちにできることを考えたり選択・判断したりして、世界の平和に向けた自分の考えをまとめるようにすることが大切である。「国際連合の働き」について指導する際には、児童にとって身近なユニセフやユネスコの活動を取り上げて具体的に調べることができるよう配慮する必要がある。

## (2) 教材について

「国際連合の働き」についてはユニセフやユネスコ、国連平和維持活動 (PKO) などの取組を挙げ、「我が国の国際協力」ではODA、NGOによる取組を挙げ、それらの様子を理解できるようにしていく。また、2015年の国連サミットにおいて合意された、持続可能な開発目標であるSDGsを取り上げる。地球規模で発生している紛争、飢餓、貧困、人権、環境破壊、自然災害など国境を越えた課題について、社会的事象の見方・考え方を働かせて、地球規模で問題が起こっていることを捉えさせるとともに、その解決のために国際連合の働きや我が国の協力の様子、そして、SDGs達成に向けた取組を関係付けて、我が国が果たしている役割を考えていきたい。

「つなぐ」段階では、SDGsの取組の中でも「自分たちでも取り組めることは何か」に焦点を絞りながら、目標達成のための議論を通し、自分たちができることを文章等で表現していく。「地球環境を守ること」においては、ノーベル物理学賞を受賞した真鍋淑郎氏の功績に触れながら、世界的にも喫緊の問題であることに目を向け、自分事の問題として捉えられるようにしていく。

学習を進めていく際、ユニセフ発行の『私たちがつくる持続可能な世界』を活用し、資料を読み取りながらそれぞれの分野における課題を把握したり、SDGsの取組内容を理解したりしていく。また、我が国の協力や取組の様子に関しては、教科書会社の「SDGsスタートブック」を活用し、日本企業の取組を理解しながら、解決に向けての取組を学んでいく。学習の内容や児童の興味・関心に合わせて、教科書とともに扱う教材を工夫し、単元の目標に迫っていききたい。

5 単元構想

**【本小単元につながる児童の学習経験】**

第4学年の総合的な学習の時間で、海洋の汚染が進んでいること、それに対して自分たちができることを考えた。第5学年「環境を守るわたしたち」で、自然環境を守る取組が、関係機関や地域の人々の努力や協力で成り立っていることを学んだ。さらに第6学年で、国際社会の平和を守るために、国際連合が作られたことを理解している。世界規模で起きている環境問題を中心に、国際連合の取組と関連付けていく。

**【研究内容1】**

**主体的に問いを追究する工夫**

**【問題意識を高める工夫】**

- ・世界規模で起きている社会問題「不平等」「暴力や差別」「地球環境の破壊」について、写真や資料から調べ、学習問題をつくる。

**【見通しをもつ工夫】**

- ・SDGsについて理解し、解決のための方法を考えるというゴールを示すこと、毎時間自分の調べる計画を見直す時間を確保することで、見通しをもって学習できるようにする。

**【内容や方法を選択できる工夫】**

- ・国際連合で採択されたSDGsの17の目標の中から、子供自身が興味・関心をもつものを選択し、調べることができるようにする。

**【協働的に取り組む工夫】**

- ・個々で調べた内容を発表し伝え合うことで、SDGs全体の概要を捉えられるようにする。
- ・課題を解決するための方法をグループで考え、話し合いを通じて伝え合うことで、よりよい解決方法を考えられるようにする。

**【学びを振り返る工夫】**

- ・毎時間、自分の学習の取組や学習の進行度をワークシートで見直し、自分の学習の成果を確認したり、新たな学習への意欲を高めたりできるようにする。
- ・単元の最後に、地球規模の課題に対する自分なりの解決方法を考え、学習問題にどこまで迫れたか振り返り、自分の学習の成果を確認できるようにする。

**子供の主体的な問題解決の側面から**

過程	想定される「問い」	子供に働かせたい見方・考え方
つかむ	<学習問題をつかむ問い> 世界にはどんな課題があるのだろうか。	課題解決に向けた連携・協力に着目して
	<学習問題をつかむ問い> 世界の課題に対して、日本や国際連合はどのような取組をしているのだろうか。	関わっている人・機関の働きに着目して
学習問題	<b>世界の様々な課題を解決するために、人々は</b>	
しらべる	<しらべる問い> SDGsの取組で、紛争問題や水問題などの課題をどのように解決しているのだろうか。	世界で起きている問題と国際連合の働きに着目して
	<しらべる問い> SDGsの取組で、どのように世界の課題を解決しているのだろうか。	問題とSDGsの目標の関係に着目して
	<しらべる問い> SDGsの取組で、それぞれの立場を通じてどのように世界の課題を解決しているのだろうか。	問題と解決の取組に着目して
まとめる	<特色や意味を考える問い> 世界の様々な課題を解決するために、世界や日本の人々は、どのような働きをしているのだろうか。	目標と取組を総合的に考えて
つなぐ	<社会に見られる課題をつかむ問い> 世界の様々な課題を解決するために、自分たちはどのように関わっていけばよいのだろうか。	日本の取組とその効果に着目して
	<発展や関わり方を考える問い> 世界の課題を解決するために、自分が取り組めることは何だろうか。	世界の問題と自分の生活を関連付けて

**【研究内容3】子供の学びを確かにする評価の工夫**

**子供が自分の学びを振り返り、次の学びに生かす評価**

ワークシートに振り返りを記入し、もっと調べたいことを記入していく。問題解決的な学習の進め方を自覚し、振り返りを生かして、次の段階への見通しをもち学習を進める。

### 単元で目指す児童像

- 資料から地球規模で発生している課題を読み取り、SDG sの「決意」と「目指す世界」を理解し、我が国は国際連合の一員として重要な役割を果たしていることを理解している子供。
- 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、我が国が国際社会において果たすべき役割などを考えたり選択・判断したりして、適切に表現している子供。
- 学習したことを基に、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割や、生活を見直し、自分にできることに主体的に取り組もうとする子供。

### 社会生活の確かな理解の側面から

見方・考え方を働かせる資料	子供が獲得できるようにしたい知識
<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の様々な紛争の写真</li> <li>・紛争の場所が分かる世界地図</li> </ul>	世界では多くの場所で紛争が起こっており、それぞれの場所で多くの人が危険にさらされているということ。また、紛争以外にも様々な課題がある。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニセフやユネスコの取組の写真</li> <li>・SDG sの資料</li> </ul>	国際連合には目的に応じた機関があり、様々な援助や支援などが行われていること。また、解決のためにSDG sという17の目標がある。

### どのようなことをしているのだろう。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDG s誕生についての動画</li> </ul>	国際連合で採択されたSDG sは世界規模の課題に対して、解決のための具体的な目標であり、17の目標で構成されている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Unicefのパンフレット</li> <li>・SDG sスタートブック</li> </ul>	SDG sの17の目標は大きく分けると、不平等をなくすこと、暴力・差別をなくすこと、環境を守ることである。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Unicefのパンフレット</li> <li>・SDG sスタートブック</li> </ul>	SDG sの17の目標の達成に向けて、世界の機関や企業、人々が協力して様々な活動を行っている。

世界の様々な課題に対して、SDG sの目標を基に不平等をなくすこと、暴力・差別をなくすこと、環境を守ることにに対して様々な取組が行われている。国際連合の一員である日本も様々な取組を行い、課題を解決しようとしている。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロスチャートで分類した資料</li> </ul>	解決の方法は、課題に合わせて多様な方法を考えていく必要があること。課題に対して自分たちでも取り組めることがあること。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Unicefの動画</li> </ul>	世界で起きている課題の中には、自分たちの日々の生活でも改善できるものがあり、改善できるための努力をしていくことが、国際社会の一員として大切であること。

### 指導と評価の一体化を図る（教師が指導に生かす）評価

- ・振り返りで見取った主体的に取り組む態度の評価を、次の学習に生かす。
- ・ノートやワークシートで、調べ学習の内容や進行度を知識・技能の観点で評価し、適宜言葉かけ等の支援を行い次の学習に生かす。

### 【研究内容2】

#### 社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

##### 【位置や空間的な広がりから見る】

- ・内戦や貧困、気候変動の様子を世界地図を活用しながら調べ、一部ではなく、世界規模で多くの課題が生じていることを理解できるようにする。

##### 【時期や時間の経過から見る】

- ・地球規模で起こっている災害や気候変動のグラフから、現在に至るまでの災害の発生件数や気温の上昇の様子について読み取ったり、近い未来の状況について予想したりできるようにする。

##### 【事象や人々の相互関係から見る】

- ・地球規模の課題に対して、国際連合をはじめとして様々な組織や日本企業が解決のために協力して取り組んでいることを、資料から読み取れるようにする。

##### 【比較・分類・関連・総合して考える】

- ・SDG sの17の目標を比較・分類することで、地球規模の課題を大まかに捉え、考えられるようにする。
- ・世界規模の課題に対する世界や日本の企業の取組と自分たちの生活を関連付けながら捉え、自分にできる解決のための取組を考える。また、話し合いを通して、今自分ができるよりよい取組を総合的に考えることができるようにする。

6 小単元の指導計画（全9時間）

過程	ねらい (数字は時数)	主な学習活動(○) 問い(◆) 予想される児童の反応(・)	◎資料 【評価】 □教師の手 だて
つかむ	<p>世界には様々な課題があることに興味をもち、その解決に向けた学習問題をつくる。 ①</p>	<p>◆世界にはどんな課題があるのだろう。 ○写真や資料を見ながら、世界で起こっている紛争について話し合う。 ・日本にはないことが世界では起こっている。 ・一般の人も関わっているのだろうか。 ○世界には紛争の他にどのような課題があるか調べる。 ・紛争の他にも地球温暖化で沈みそうな島があったり、ホッキョクグマのすみかがなくなったりしていると聞いたことがある。 ・プラスチックゴミで海が汚れていることを、4年の時に学習した。 ○問題や疑問を整理して、学習問題をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>世界の様々な課題を解決するために、人々はどのようなことをしているのだろう。</p> </div> <p>○学習問題に対して予想を考え、学習計画を立てる ・ODA や JICA、NGO 等を通じて、支援しているのではないか。 ・UNICEF など国際連合の機関を通じて、解決を図っていると思う。</p>	<p>◎教科書P100紛争の写真、紛争が起きている地域の地図、水・貧困に関する写真資料</p> <p>◎教科書P101様々な問題の写真、予想される問題の写真</p> <p>【思判①】 発言やワークシートなどの記述から「地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、学習問題を見いだしているか」を評価する。</p> <p>◎日本の活動の写真資料やUNICEFの活動の写真資料（ODAやJICA、NGO等の活動写真）</p> <p>【態度①】 発言やワークシートの記述から「予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしているか」を評価する。</p>
	<p>世界の様々な課題に対して、日本はどのような取組みをしているのか調べ、我が国の国際協力の様子を理解する。 ②</p>	<p>◆世界の課題に対して、日本はどのような取組みをしているのだろう。 ○資料から日本政府の取組を調べる。 ・青年海外協力隊が外国で教育に関わっている。 ・医療にも関わっているね。 ・中村哲さんは医者なのに、現地の人と用水路をつくっている。 ・日本も国連加盟国として、様々な取組をしているのだね。 ・日本もSDG sに取り組んでいるね。 ○中村哲さんの功績について調べ、日本の取組の意義について理解を深める。</p>	<p>◎教科書P106、107資料</p> <p>【知技①】 発言やワークシートなどの記述から「資料から地球規模で発生している課題を読み取り、我が国の国際協力の様子を理解しているか」を評価する。</p> <p>◎資料 掲示資料</p>
	<p>世界の様々な課題に対して、世界はどのような取組みをしているのか調べ、国際連合の働きを理解</p>	<p>◆世界の課題に対して、国際連合はどのような取組をしているのだろう。 ○国連の成り立ち、加盟国、機関について調べる。 ・世界の問題に取り組んでいるのかな。 ・どんな機関があるのだろう。 ○資料からどのようなことが問題視されてきているのか、どういうことを目的として国連は活</p>	<p>◎教科書P102～103</p> <p>◎外務省unicef資料「私たちがつくる持続可能な世界」</p>

<p>する。③</p>	<p>動しているのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• UNICEFやUNESCOという機関があるね。UNICEFは聞いたことがあるな。</li> <li>• ほとんどの国が国際連合に加盟しているね。</li> <li>• SDG s は国連の取組の一つなのだね。</li> <li>• SDG s の前はMDG s という取組をしていた。</li> </ul> <p>○国連がどのような意図で、SDG s という目標を掲げたのかを調べる。</p>	<p>【知技①】 発言やワークシートなどの記述から「資料から地球規模で発生している課題を読み取り、国際連合の働きを理解しているか」を評価する。</p> <p>◎World' s Largest Lessonより『世界に広めよう「持続可能な開発目標 (SDG s)」 I : 今日 の課題、SDG s の誕生について (動画)』</p>
<p>SDG s の取組について調べ、活動の意義について理解する。 ④</p>	<p>◆SDG sの取組で、紛争問題や水問題などの課題をどのように解決しているのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 戦争については、目標16が関係していそう</li> <li>• 戦争によって生活が苦しくなっている人もいるから、目標1や2も関わりがありそう。</li> </ul> <p>○世界の水問題を取り上げて、具体的な取組や効果などを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Unicefは、井戸をつくったりトイレを設置したりしている。</li> <li>• JICAは、水のスペシャリストを、毎年途上国に派遣している。</li> <li>• 水の浄化剤を開発して、途上国に届けている企業がある。</li> </ul>	<p>◎教科書P100紛争の写真、紛争が起きている地域の地図</p> <p>◎教科書P101様々な問題の写真、予想される問題の写真</p> <p>□水の問題 (目標6) に対してどのような取組をしているのか、国連、NGOや企業双方を調べられるようなワークシートを用意する。</p> <p>□次回からの学習では、同じ流れで違う目標について調べていくことを伝える。</p> <p>【知技①】 発言やワークシートなどの記述から「必要な情報を読み取り、水問題を解決するための国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を理解しているか」を評価する。</p>
<p>SDG s の取組を調べ、持続可能な社会の意味やSDG s の取組「暴力や差別をなくそう!」「不平等をなくそう!」「地球環境を守ろう!」について内容を理解する。 ⑤ ⑥</p>	<p>◆SDG sの取組で、どのように世界の課題を解決しているのだろうか。</p> <p>【調べる事柄】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□調べた目標はどの世界の課題を解決するのか。</li> <li>□2030年までに、どのようなことを目指しているのだろうか。</li> <li>□具体的にどのような取組が行われているのだろうか。</li> <li>□取組によって、課題が解決に向かっているのだろうか。</li> </ul> <p>などについて、調べる。</p> <p>○資料から興味をもった目標についての内容、実態、取組を読み取り、インターネットや書籍を活用して、さらに詳しく調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 若年結婚や教育の貧困も、暴力や差別につなが</li> </ul>	<p>◎外務省unicef資料「暴力や差別をなくそう」「不平等をなくそう!」「地球環境を守ろう!」</p> <p>□発表する内容がある程度一定になるように、調べる事柄を提示する。</p> <p>□前時と同じように、2つの立場 (国連、NGOや企業) から調べられるようなワークシートを用意する。</p> <p>◎教科書会社資料「SDG s スタートブック」</p>

	<p>るんだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性差別は日本でも問題になっているね。</li> <li>・水不足が紛争につながるなんて、「暴力・差別」のところとも関係してくる。</li> <li>・海洋の豊かさは気候の安定につながっているなんて思わなかった。</li> <li>・日本の経験を伝えることがSDGsに貢献しているのか。</li> <li>・自分たちの生活に関わっていることが多い。</li> <li>・地球温暖化が進んで、海水面が上がってきている。そのため、島が沈んだり生き物のすみかが奪われたりしている。</li> <li>・森林伐採で生き物が絶滅する。食物連鎖が壊れる。</li> <li>・大気汚染で喘息などの病気になる人が増える。</li> </ul>	<p>【知技①】 発言やワークシートなどの記述から「必要な情報を読み取り、世界の課題を解決するための国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を理解しているか」を評価する。</p>
<p>SDGsの取組について、調べたことを発表し、知識を共有する。⑦</p>	<p>◆SDGsの取組で、それぞれの立場を通じてどのように世界の課題を解決しているのだろう。</p> <p>○調べたことを共有し、それぞれの立場でどのような取組をしているのか、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国連は、行動のスピードを速めるようにみんなに呼びかけている。</li> <li>・Unicefが、いろいろな問題に対して取り組んでいる。</li> <li>・日本は、ODAを活用して、日本の得意分野で国際協力を進めている。</li> <li>・日本は、自分たちの経験を国連の会議などで伝えている。</li> <li>・企業は、環境のことを配慮して製品を作っている。</li> <li>・NGOは、日本の文化を海外に発信して、世界の課題を解決しようとしている。</li> <li>・それぞれの取組を調べていると、何か自分たちにもできることがありそうだな。</li> </ul>	<p>□SDGsの取組を理解できるよう、ジグソー的な方法でそれぞれが調べたことを発表し、全員の考えが聞けるよう配慮する。</p> <p>【知技①】 発言やワークシートなどの記述から「調べた情報を共有し合い、世界の課題を解決するための国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を理解しているか」を評価する。</p>
<p>調べたことと日本政府の取組との関わりを捉え、学習問題に対する考えをまとめる。 ⑧（本時1）</p> <p>ま と め る</p>	<p>◆世界の様々な課題を解決するために、世界や日本人は、どのような働きをしているのだろう。</p> <p>○「SDGsアクションプラン2021」より、日本政府の取組を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本政府も、優先課題に対して取組例を出していたんだ。</li> </ul> <p>○調べたことと政府の取組の関係性を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スターバックスのプラスチックストロー廃止は、「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」とつながっている。</li> </ul>	<p>□「SDGsアクションプラン2021」を簡略化した資料を配付する。</p>

		<p>○これまでの学習を関連付けて、学習問題に対する考えをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>世界の人々や日本は、世界平和や環境のために話し合いを行ったり支援をしたりしている。また、日本政府や企業も協力して世界の問題を解決しようとしている。</p> </div> <p>○私たちの日常でSDG sに関わることはあるか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題は、現時点でとても問題だと感じていることだから、なんとかしたいな。</li> <li>・差別もよくない。日本でも話題になったし。でも、どんなことができるかな。</li> </ul>	<p><b>【知技②】</b> 発言やノートなどの記述から「調べたことを図表や文などにまとめ、我が国は平和な世の中の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解しているか」を評価する。</p>
つなぐ	<p>国際社会の一員として、自分たちが今できることや将来できることを考える。⑨（本時2）</p>	<p>◆世界の様々な課題を解決するために、自分たちはどのように関わっていけばよいのだろう。</p> <p>○自分の生活を振り返り、自分たちが取り組めることを具体的に書き、クロスチャートに分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好き嫌いが多く、よく残して食料を無駄にしているから、「残さない。多く買わない。」にする。そうすることでゴミを減らし、地球温暖化の原因である二酸化炭素排出の量を削減できる。</li> <li>・電気の無駄遣いを結構しているから、「ノーテレビ、ノーゲーム、ノーパソコンデー」をつくって家族で取り組む。そうすることで、地球温暖化を止めることができる。</li> <li>・自分の家は、環境に配慮した物やフェアトレードのものを買っているかな。「マークを見て買う。」ことを意識する。そうすることで、労働に見合った平等な賃金をもらえることに協力し、不平等をなくせる。</li> </ul> <p>○自分にできることを考え、ノートにまとめる。</p>	<p>◎World' s Largest Lessonより『世界に広めよう「持続可能な開発目標（SDG s）」Ⅲ：自分にできることを考えてみよう（動画）』</p> <p><b>【思判②】</b> 発言やノートの記述から、「我が国が平和な世界の実現のために国際連合の一員として果たしている役割を考えたり、学習したことを基に、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えたりして、適切に表現しているか」を評価する。</p> <p><b>【態度②】</b> 発言やワークシートから「学習したことを基に、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割や、生活を見直し、自分にできることを主体的に考えようとしているか」を評価する。</p>

7 本時の学習 I (8/9時)

6年2組 忍岡小学校 主任教諭 石塚 理栄子

(1) 本時のねらい

調べたことと日本政府の取組との関わりを捉え、学習問題に対する考えをまとめる。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・児童の予想される反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
つかむ	<p>○前時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業が様々な取組をしていた。</li> <li>・いろいろな問題に、日本の得意分野で支援していることが分かった。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     本時の問い：世界の様々な課題を解決するために、世界や日本の人々は、どのような働きをしているのだろう。                 </div>	
つなげる	<p>○「SDG s アクションプラン2021」より、日本政府の取組を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本政府もSDG s について指針を示していたのだね。</li> <li>・8つのことに優先的に取り組んでいるのだね。</li> <li>・日本の強みを生かした取組を進めている。</li> </ul> <p>○「SDG s アクションプラン2021」と調べたことの関係性を捉え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の企業と国際機関を結び付けようとする取組もある。</li> <li>・この取組は、政府が掲げたアクションプランを受けて活動しているようだ。ほかのもそうかな。</li> </ul> <p>○学習問題に対する考えをノートにまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     まとめ：世界の人々や日本は、世界平和や環境のために話し合いを行ったり支援をしたりしている。また、日本政府や企業も協力して世界の課題を解決しようとしている。                 </div>	<p>◎SDG s 推進本部「SDG s アクションプラン 2021」を簡略化した物を配布し、理解しやすくする。</p> <p>【知技②】発言やノートなどの記述から「調べたことを図表や文などにまとめ、我が国は平和な世の中の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解しているか」を評価する。</p>
まとめる	<p>○私たちの日常でSDG s に関わることはあるか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業にだけ任せていないで、自分たちにもできることがあると思うのだけれど。</li> <li>・差別もよくない。日本でも話題になったし。でも、どんなことができるかな。</li> <li>・もっと身近で日頃からやっているよ。マイバッグとか。</li> </ul>	<p>□自分たちの日常と SDG s との関わりを考えることで問題意識をもたせ、次時へつなげる。</p>

**〈板書〉**      世界の様々な課題を解決するために、世界や日本の人々は、どのような働きをしているのだろう。

アクションプラン1	取組
アクションプラン2	
アクションプラン3	取組
アクションプラン4	
アクションプラン5	取組
アクションプラン6	取組
アクションプラン7	取組
アクションプラン8	取組

まとめ：世界の人々や日本は、世界平和や環境のために話し合いを行ったり支援をしたりしている。また、日本政府や企業も協力して世界の課題を解決しようとしている。

自分たちも日頃から行っていることがあるのでは？

・うちは買い物とき、マイバッグを使っている。  
 ・ノートにグリーンマークがついているけれどSDG s に関係している。

(1) 本時のねらい

国際社会の一員として、自分たちが今できることや将来できることを考える。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・児童の予想される反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
つかむ	○前時の振り返りをする。 ・今すぐできることとそうでないことがあることが分かった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">本時の問い：世界の様々な課題を解決するために、自分たちはどのように関わっていけばよいのだろう。</div>	◎第1時に使用した写真資料
つなぐ	○自分が調べたことや、友達の発表で聞いたことから、自分が「今、できる」「将来、できる」「個人で取り組む」「みんなで取り組む」ことを、クロスチャートで分類する。 ・性別の差による思い込みをなくすように、みんなに呼びかけることはできそうだ。 ・母子手帳のよさを自分で調べてみたい。 ・将来、地域の魅力を発信する番組をつくりたい。 ・ドローンや自動運転などの未来の技術を開発してみたい。 ・少しでも食品ロスがなくなるように、全校に呼びかけたい。	□クロスチャートに自分たちの意見を書き込ませることで、考えを整理させる。 □他の班のクロスチャートも見て考えられるようにする。 【思判②】発言やクロスチャートの記述から、「学習したことを基に、今後、自分たちや我が国が国際社会において果たすべき役割を多角的に考えたり、選択・判断したりして、適切に表現しているか」を評価する。
まとめる	○自分の生活を振り返り、自分が取り組んでいく目標を具体的に書き、その取組がどのようなことにつながるかを伝え合う。 ・好き嫌いが多くて食料を無駄にしているから、「残さない。多く買わない。」にします。そうすることでゴミを減らし、地球温暖化の原因である二酸化炭素排出の量を削減できるからです。 ・自分の家は、環境に配慮した物や差別なく生産されているものを買っているかな。「マークを見て買う。」ことを意識します。そうすることで、労働に見合った平等な賃金をもらえることに協力し、不平等をなくせるからです。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">まとめ：世界で起きている課題の中に、自分たちの日々の生活でも改善できるものがあり、改善するための努力をしていくことが国際社会の一員として大切である。</div> ○動画を見て、自分にできることを考え、身近なことから世界の課題を解決する方法を話し合う。	【態度②】発言やワークシートから「学習したことを基に、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割や、自らの生活を見直し、自分にできることを主体的に考え、選択・判断しようとしているか」を評価する。  ◎World's Largest Lessonより『世界に広めよう「持続可能な開発目標 (SDGs)」Ⅲ：自分にできることを考えてみよう (動画)』

**<板書>**

世界の様々な課題を解決するために、自分たちはどのように関わっていけばよいのだろう

○世界の課題 (第1次で使った写真)

↓

SDGs  
17の達成目標

○自分にできることは何か。

- ・自分の生活と関わっているのは…
- ・自分の興味をもっていることは…
- ・自分が大切にしていることは…

